



1月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園
2025年1月1日

＊＊保育目標 ご恩 つとめます＊＊

- ・お正月遊びをお家の人や友達と共に楽しむ。
- ・親鸞さまのご苦労されたお話を聴き、手を合わせる。



【法話】

ごしょうきほうおんこう
御正忌報恩講

新しい年、令和7年、2025年の新年を迎えました。あけまして おめでとうございます。

年末にはインフルエンザ流行等がありましたが、旧年中は、みなさま方には、御理解御協力くださいましたこと、厚く御礼申し上げますとともに、職員含め当さやま保育園に対し、大変お世話になりましたこと感謝致します。

今年も、どうぞよろしくお願い致します。

1月には、17日に「かるた大会」(ほとけのこどもいろはかるた)そして14日には、「御正忌報恩講」を園でお勤めします。お正月を始めとする、日本の昔からの文化習慣を大切に感じていきたいと思います。

御正忌報恩講とは、お釈迦さまの説かれた南無阿弥陀仏のお念仏のみ教えを私たちにわかりやすく教えてくださった親鸞さまをしのび、報恩謝徳の行事です。

親鸞さまは、1173年5月21日に生まれられ、90歳の1月16日に往生されました。その御一生は、いばらの道でした。しかし「大悲の願船に乗じて光明の広海に浮かびぬれば、至徳の風 静かにして、衆禍の波転ず」と、阿弥陀さまの本願を信じ、念仏に生かされることによって、このいばらの道が、そのまま真実への道であることを、その身をもって私たちに教え示して下さいました一生でもあります。

御正忌報恩講は、親鸞さまの御法事ですが、ただ親鸞さま有り難うではなく、この私が、そのご苦労をしのび、親鸞さまが伝えてくださったお念仏の教えをしっかりと聴聞し、お念仏をよろこぶご縁とさせていただく行事です。まず私が、他力の信心を得て浄土往生を決定することが、親鸞聖人に対するなによりの御恩報謝となるのです。ただの親鸞様ありがたの行事ではないのです。

合 掌



今月の行事予定

1・2・3日 お正月休み 6・20日 礼拝

発育測定(14日 ぞう・きりん 15日 うさぎ・りす

16日 あひる・ひよこ) 14日 御正忌報恩講

17日 かるた会 20日 クッキー作り 21日 誕生会

20日 卒園記念写真 24日 避難・引き渡し訓練

24日 佐山小6年職場体験 26日 集金引落

27～2/7日ピッパラセール出品回収



「いっしょに 楽しい 子育てを」

私が4歳児の園児だった発表会の思い出は、石油ストーブの音と匂いと銀色の煙突です。小さな田舎の幼稚園。私は、女の子3人で「たのしいひなまつり」のお遊戯をしました。練習中、どうしてもできない2番♪お内裏様とお雛様…♪のところ、右手で向かって左側の(想像の)お内裏様を指さし、次に右側のお雛様を指さす。ただこれだけのことなのですが、私だけが揃わない。「お箸持つ手よ！お茶碗持つ方よ！」「お家のお雛様思い出して！(家にはお雛様は無かった)」「(涙の私に)笑って、笑って」と先生の声。前にいる先生は、お茶碗持つ手で指しているのに？何回も同じことを繰り返し、ようやく逆むけのある指で保育室のストーブの煙突を指したら先生が嬉しそうな顔をするのを私なりに学びました。それなのに、発表会当日は小学校の講堂で、……、先生の悲しそうな顔と石油ストーブの音と匂いが忘れられないものでした。

これがトラウマというのでしょうか、視力検査や車の教習や左右を問われる時や、人の前で踊ることも苦手なままで大人になりました。残念ながらいつまでも、これらのことを思い出すと、辛くて胸が痛くなります。これからの保育園は、こんな発表会・運動会からは脱却したい気持ちが誰よりも強くあります。ようやく「子どもの人権」でも行事は子どもの意見を取り入れて行う。発表会や運動会では子どもに揃った動作を強要しないと書かれるようになりました。

12月の終わりに行った「わくきら♪パレード」は、子ども達がやる気を持ってやり抜きました。どの子も自信を持った輝く目。保護者の方に見てもらうためにやるのではなく、子ども達が、観てほしいから、聞いてほしいから、想いを伝えたいから行いました。その気迫や気持ちは、対面ではなくては伝えられない。子どもにとってのパレードは、作り始めたときがスタートです。そのパレードを周りの大人が、台詞が出るまで静かに見守ったり、一緒になってリズムに乗って踊ったり(子どもだって流行の曲が好き)、出来た絵や作品を褒める言葉、何日もかけて作った素敵なドレスへの喜びの拍手。一人ひとりの子ども達の気持ちに寄り添っていただけの保護者の皆様のお陰で、パレードが、子ども達にとってのウェルビーイングを生み出し、ゴールを迎えることが出来ましたこと、何よりの喜びです。